

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年07月22日

計画の名称	新見市地域住宅等整備計画														
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）										重点配分対象の該当				
交付対象	新見市														
計画の目標	・狭小で老朽化した住宅の需要動向を見極めながら、土地の高度利用や生活環境の改善を図り、より効率的な計画的整備や高齢者や身体障害者をはじめ、すべての人にやさしいまちづくりを目指し、市民と行政との協働により、個性的で質の高い住まいづくりを推進する住宅施策に取り組む。														
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		68	A	68	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R03当初		R07末
1	・市営住宅の長寿命化対策の推進（市営住宅の長寿命化計画の達成率の増加）			
	市内の市営住宅のうち長寿命化計画に基づく改修を行った割合 （改修実施棟数） / （計画期間内改修予定棟数） R3 0棟 / 46棟 R7 46棟 / 46棟	0%	%	100%
2	・市営住宅の建替事業の実施（市営住宅の長寿命化計画の達成率の増加）			
	市内の市営住宅のうち長寿命化計画に基づく建替事業を行った割合 （建替実施棟数） / （計画期間内建替予定棟数） R7 0棟 / 1棟 R7 1棟 / 1棟	0%	%	33%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

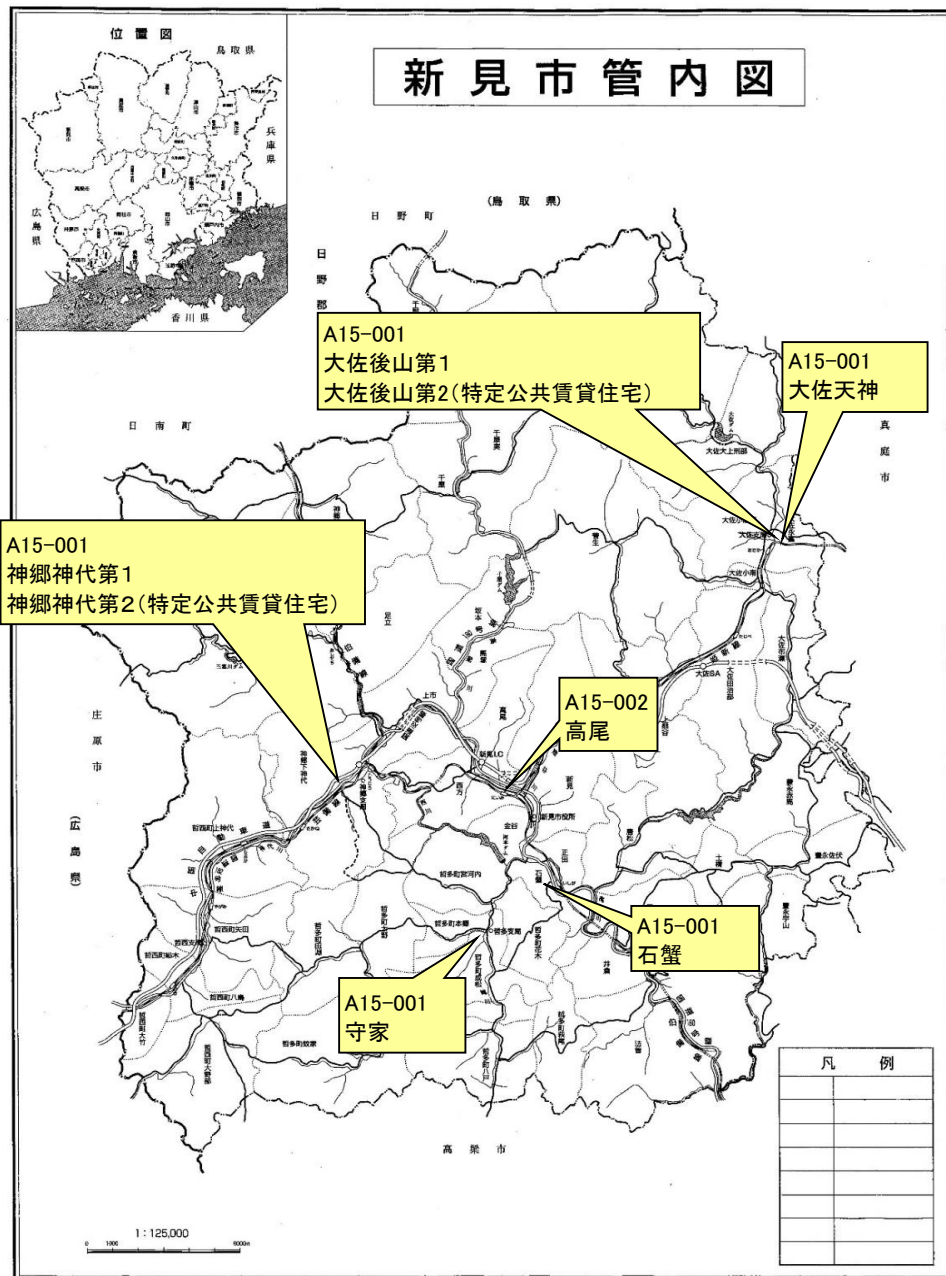
A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	新見市	直接	新見市	-	-	地域住宅計画に基づく事業（公営住宅等ストック総合改善事業）	市営住宅の外壁改修等（４６棟３２１戸）	新見市	■	■	■	■	■	62	一	策定済
	A15-002	住宅	一般	新見市	直接	新見市	-	-	地域住宅計画に基づく事業（公営住宅等整備事業）	県道改良に伴う市営住宅の移転建替（１棟６戸）	新見市					■	6		策定中
											小計						68		
											合計						68		

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 新見市において評価を実施	事後評価の実施時期 令和 8 年 7 月 公表の方法 新見市ホームページで公表
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・ 大佐天神団地、守家団地、神代団地、石蟹団地、後山団地で外壁塗装等の改修を行った結果、躯体の劣化の低減や耐久性が向上した。 ・ 高尾団地建替事業で、測量地質調査を行った結果、建替事業地を選定することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	
「新見市住生活基本計画」及び「新見市営住宅長寿命化計画」に即した維持管理を行い、必要に応じて計画の点検・見直しを行うとともに、今後も居住者のニーズに沿った整備を推進していくように努める。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	改修の割合		
	最 終 目標値	100%	限られた財源のなかで改修の必要性の高い住宅へ優先的に事業を実施したため。
	最 終 実績値	91%	
2	建替の割合		
	最 終 目標値	33%	限られた財源のなかで測量地質調査のみを先行して行い、建替については、次期計画で実施することとなったため。
	最 終 実績値	0%	

(参考様式3) 参考図面(地域住宅支援)

計画の名称	新見市地域住宅等整備計画		
計画の期間	令和3年度 ～ 令和7年度 (5年間)	交付対象	新見市



A15-001 公営住宅ストック等総合改善事業

A15-002 公営住宅等整備事業